学校番号	416

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史探究	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「精選日本史探究　今につなぐ　未来をえがく」（日探 703）　（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

主体的・対話的で深い学びを実現するために、様々な社会的事象の関連や本質を捉え、広い視点に立ち公正な判断ができるようにしなければならない。東アジアをはじめとする国際環境の変化を重視しつつ，世界史の中での日本の動きを多面的・多角的に考察する。またその時々の社会の変化や政治的な動きが現在とどのようにつながっているのか、しっかりつかんでほしい。なお，学習を進めるに当たり、自ら学び・まとめる作業や学びあいを重視する。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを多角的・多面的に考察する能力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探求しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、他国や多文化を尊重することの大切さについて自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・我が国の歴史の展開についての基本的な事柄を、国際環境と関連付けて総合的に理解し、その知識を身につけている。 ・資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解している。	・我が国の歴史の展開から課題を見いだし、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し我が国の文化と伝統の特色についての認識を深め、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	・我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、学ぶ意義や目的，歴史的な考察の方法やその特質について，主体的に理解を深めようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1編　原始・古代の日本と東アジア	・国家と文化の形成	a:農耕の発展によって村を越えた地域的な権力（邪馬台国など）が形成されたことを理解する。 b:水稲耕作や金属器の伝来が日本列島の社会に与えた影響を発掘調査の成果から考察できる。 c:日本列島における旧石器文化・縄文文化の形成を自然環境や大陸からの影響を資料からとらえ、関心をもてる。	定期考査 小テスト	定期考査 ﾌﾟﾘﾝﾄ提出 グループワーク	ﾌﾟﾘﾝﾄ提出 グループワーク 振り返りシート
		・古代国家の確立	a:大化の改新以降の政治過程を律令制の形成を中心に，東アジア情勢を踏まえて多面的に考察し，理解できる。平安初期の政治とその後の律令体制の変質について，蝦夷や東アジア世界との関係の変化を踏まえて資料をよみとり考察し，理解できる。藤原北家の発展過程，公領の変質や荘園拡大など律令体制の変容などについて資料に基づき考察し，理解できる。 b:各種の資料を分析し，ヤマト政権の発展や対外関係について多面的に考察できる。政治史の流れを理解し，諸勢力対立の原因について考察できる。仏教の興隆による鎮護国家の思想の誕生などについて考察できる。 c:渡来人のもたらしたものが現在の日本文化の基層にあることに関心をもてる。律令制の下での民衆の暮らしについて関心をもつ。日本特有の文化の生成に関心をもてる。	定期考査 小テスト	定期考査 ﾌﾟﾘﾝﾄ提出 グループワーク	ﾌﾟﾘﾝﾄ提出 グループワーク 振り返りシート

2学期	第2編　中世の日本と世界	中世社会の成立	a:北条氏が台頭し,執権政治を確立していく過程や執権政治の特質について，史料をもとに考察し，理解できる。元寇や得宗専制政治の展開を,国際情勢を踏まえて，理解できる。源平の争乱から鎌倉幕府成立までの歴史過程,御家人制度,鎌倉幕府と朝廷による二元的支配の構造などについて,多角的に考察し,理解できる。元寇や得宗専制政治の展開を,国際情勢を踏まえて，理解できる。 b:院政期における武士の影響力の拡大や平氏政権の展開について考察できる。御家人の窮乏について関心をもち,永仁の徳政令の発布などを取り上げて考察できる。御家人の窮乏について関心をもち,永仁の徳政令の発布などを取り上げて考察できる。 c:文化が庶民や地方に広がった事に関心をもてる。鎌倉新仏教など,鎌倉文化に関心をもてる。鎌倉新仏教など,鎌倉文化に関心をもてる。鎌倉幕府の滅亡，建武の新政について,資料に基づき武士や農民の動向に関心をもてる。	定期考査 小テスト	定期考査 ﾌﾟﾘﾝﾄ提出 グループワーク	 ﾌﾟﾘﾝﾄ提出 グループワーク 振り返りシート
		中世社会の展開	a:南北朝の動乱のなかで日本列島の社会の変質や,足利義満の展開した内政・外交上のさまざまな取り組みを理解できる。応仁の乱の展開・影響について理解できる。領国統治を強化して富国強兵策を推進した戦国大名に,関心をもち知識を深める。 b:資料に基づき、一揆がどのように形成され，なぜ広まり，どのような構造を持っているか,考察できる。 c:室町時代の農業・商工業の発展で人々の暮らしが変容したことに関心をもてる。	定期考査 小テスト	定期考査 ﾌﾟﾘﾝﾄ提出 グループワーク	 ﾌﾟﾘﾝﾄ提出 グループワーク 振り返りシート

3学期	第3編　近世の日本と世界	統一政権の成立	a:織田信長の人物像や統一事業の流れについて理解できる。幕藩体制の特質を理解できる。 b:鉄砲やキリスト教の伝来，南蛮貿易の展開を踏まえてヨーロッパ世界との接触とその影響について考察できる。資料をよみとり，豊臣秀吉による統一過程と政策の影響について考察できる。幕藩権力が百姓に対しどのような支配をおこなったか，史料から読み取り，考察することができる。 c,桃山文化が幅広い国際性を持ちつつ，生活文化のなかにとけ込んでいったことに，関心をもてる。	定期考査 小テスト	定期考査 ﾌﾟﾘﾝﾄ提出 グループワーク	ﾌﾟﾘﾝﾄ提出 グループワーク 振り返りシート
		幕藩体制の展開	a:農業生産の進展、産業の発達と多様化,交通の整備や貨幣・金融制度の確立による商品経済・流通の発達，都市の経済的繁栄などから，諸産業の展開を理解できる。幕府・諸藩の経済的窮乏などに着目して，享保の改革の諸政策を理解できる。商品経済の発展に敏感に対応した田沼意次の政治について，具体的政策を資料に基づき考察するとともに，それが挫折していく過程について考察し，理解できる。 b:文治政治の政策の特徴を理解できる。また,幕府財政悪化の要因と影響について考察できる。松平定信は,諸課題に対し,どのように対応しようとしたのか,考察できる。大塩平八郎の乱の背景としての社会的矛盾と乱の影響について考察できる。 c:上方の豪商を中心に町人たちに担われた元禄文化に関心をもてる。江戸を中心に発展した化政文化に関心をもてる。	定期考査 小テスト	定期考査 ﾌﾟﾘﾝﾄ提出 グループワーク	ﾌﾟﾘﾝﾄ提出 グループワーク 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度